



全国優勝を目指して!!

津久見高校のロボット研究部では、「今年こそ全国優勝を!」を合い言葉に、相撲ロボットの製作・調整に余念がない。

昨年は、大分県大会優勝、九州大会でも優勝。九州No.1のプライドをかけて臨んだ全国大会。しかし、全国ベスト8の結果で戦いを終えた。

今年こそ!と意気込む佐藤晃キャプテンと山中駿。ともに昨年の全国大会で敗戦を経験したメンバーだ。彼らには1年越しの大きな課題がある。それは、自分たちのロボットと全く違うコンセプトで作られたロボットといかに戦うかだ。そのロボットを倒さぬ限り、優勝は狙えないと考えている。

津高のロボットは、素早い動きで相手を翻弄し攻めるタイプ。対して、昨年優勝したロボットは、動きは遅いが、土俵との接地力が圧倒的に強く、相手ロボットを土俵外へ押し出すタイプ。(往年の小錦と舞の海の対戦イメージ……?)
現在、彼らは秘策を練っているという。

8月27日の大分県大会を皮切りに、今年も熱い戦いが開始される。まずは県大会優勝を。そして、11月9日の九州大会でも二連覇を狙え。

最終目標の全国大会は11月23日と12月14日。なんとしてでも、悲願の全国優勝を成し遂げろ!ロボット研究部。



このイラストは、会計システム科3年 安藤詩織さんの作品です。



津高生 One By One

渡邊ひとみ：会計システム科3年
弓道部女子キャプテン、第一中・津久見小出身

今月は、会計システム科3年生の渡邊ひとみさんの登場です。彼女は高校入学後、弓道に打ち込む傍ら、日商簿記二級など様々な資格試験にも合格。現在、進学に向けて準備を進めているところです。渡邊さんにインタビューしました。(渡邊さん：W、インタビュアー：I)

I：弓道を始めたきっかけは？

W：はい。中学校の時、活動していた吹奏楽を続けるようと思ったのですが、部活動見学会の時、弓を引く先輩の姿勢があまりにもかっこよくて…… 自分もきれいな姿勢で弓を引きたいと思って……。

I：大きな大会で活躍できましたか？

W：いいえ、県総体では残念ながら予選で敗退し、本戦出場は叶いませんでした。でも、きれいな姿勢に裏打ちされた礼儀や集中力。そしてなによりも、(弓道の世界ではよく言われていることなのですが、)『真・善・美』が少しずつわかり始めたのが大きな収穫です。

I：真・善・美とは？

W：はい。いろいろな考え方があると思うのですが、『真』とは、真実を探究することや、まっすぐにぶれない心だと思います。『善』とは、倫理性が高く、良い行いは弓に通じると考えています。『美』は、弓を引くときの姿勢だけでなく、人の内面からにじみ出てくる真の品格だと考えています。

I：奥深い言葉ですね。ところで大学進学を目指していると聞きましたが。

W：はい。専門科目を勉強するうちに、もっと商業や経済のことを深く学びたいという気持ちが強くなったので、進学しようと思いました。

I：大学卒業後は？

W：はい。現代の社会情勢を踏まえ、将来の経済状況を予測したうえで、それぞれの会社や商店などがどのような経済活動をすればよりよいのかを考えて、そのアドバイスなどができればと考えています。

I：そうですか。今日はありがとうございました。自分の夢実現に向けて頑張ってください。



津久見高校からのお知らせ：本校では、地域に根ざした学校づくりを進めております。

ご意見やご要望等があればご連絡ください。

☎82-4126